

<学校名> 北本市立北本中学校
<所在地> 北本市本町1丁目1-1
<電話> 048-591-2057
<本事例の特徴>

本校は、以前から県外他市町村からの転入学が多い傾向にあるが、近年、海外から編入してくる生徒が増加している。外国籍の生徒と言語や文化の壁を越えて理解し合うために、総合的な学習の時間における様々な国際理解教育の取組を行っている。また、フィリピン出身のALTが、自国の紹介や季節ごとの行事について生徒の目を引くようなカラフルで興味深い国際文化に関わる掲示物を定期的に作成している。

<具体的な取組や成果>

○日本語の理解が十分ではない生徒への個別指導

・外国籍や海外から編入してくる生徒に対して、ボランティアの指導員による個別指導や、個別の教科指導等、各生徒の理解度や発達段階に応じた指導を実践している。

○総合的な学習の時間における「県政出前講座・やさしい日本語を学ぼう」（3年生）

・埼玉県県民生活部国際課より講師3名をお迎えし、多文化共生の地域づくりについての講義とやさしい日本語への言い換えについての指導を受けた。普段使っている日本語を簡単な日本語へ言い換える練習をしてから、4人グループで課題に取り組んだ。



生徒の感想より（一部）

外国の方に伝わるように日本語を話すのは、想像していたよりも難しくて驚いた。相手の反応を見ながらゆっくり丁寧に伝えることが大事だと思った。外国の方と話すときには、今回習ったことを活かしていきたい。

外国人である相手に合わせることも大事だが、相手にわかってもらえるようなやさしい日本語を使う努力をすることも大切だと思った。これからは外国人だからといって会話を避けることなく積極的に話しかけていきたい。

○ALTが作成する国際文化掲示や日本文化に関する英語クイズ

・外国で行われる様々なイベント（ハロウィーンやクリスマスなど）について、外国では実際にどのように行われているのか等を掲示した。その本来の意味や、日本での行われ方との違いを知る機会となっている。また、日本の季節にちなんだ言葉や文化を英語クイズにして生徒に出題し、全問正解者にはミニプレゼントを渡すというお楽しみも行った。

